

平成25年度施策評価表

作成年月 平成26年8月

分野名(章)	豊かな資源を生かした農業が根づくまちづくり	分野(章)番号	5
政策名(項)	消費者ニーズに対応した農林業の振興	政策(項)番号	I
施策名(目)	森林資源の活用と多面的機能の充実	施策(目)番号	⑦
担当課	農林課	担当課長	今村 勝則

1. 施策の基本方針

施策目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源として重要な価値のある森林資源を適正に管理することにより、水資源の涵養や国土保全及び環境面といった公益的機能を発揮し、町民に憩いと潤いの効果をもたらすことを目的とする。 ・また、必要に応じて伐採することで、林業経営の安定を図ることを目的とする。
------	--

2. 施策の現状分析

施策の概況	施策に対するニーズ等(具体的事項)	施策を取り巻く環境(社会環境, 国・県の動向等)							
	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の整備・保全のためには、下刈り、枝打ち、間伐などの保育や林道・作業道などの整備、病害虫の駆除などさまざまな作業が必要であり、そのための補助金等さまざまな支援が求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の荒廃については、国・県も大きな問題として捉えており、森林総合整備事業、保全松林緊急保護整備事業、森林整備地域活動支援交付金事業など各種事業が用意されている。しかし、そういった取り組みにもかかわらず、林業経営は低迷している状況にある。 ・一方、地球規模で議論されている環境保全等に関する協定書の締結(京都議定書)により、森林の持つ多面的機能を維持することが社会的責任となっている。 							

施策指標(成果指標)	指標の内容	達成度(上段:目標 下段:実績)							備考(他団体状況含む)
		H23	H24	H25	H26	H27	H27目標		
主要	民有林施策計画面積	目標							
		実績	2,389ha	2,389ha				2,464ha	
		達成率							
参考①	森林経営計画面積	目標			2,709.71ha	2,709.71ha	2,709.71ha		
		実績			1,129.63ha			2,709.71ha	
		達成率			42%				
参考②		目標							
		実績							
		達成率							
参考③		目標							
		実績							
		達成率							
参考④		目標							
		実績							
		達成率							

3. コストの推移(行政資源投入の状況)

		平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	平成27年度
		(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(当初予算)	(見込み)
事業費		40,927千円	41,846千円	40,003千円	64,593千円	57,436千円	42,100千円
財源内訳	国庫支出金	16,462千円	11,766千円	21,168千円	36,498千円	22,748千円	10,778千円
	県支出金	8,821千円	8,393千円	2,235千円	3,202千円	1,802千円	1,802千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	(うち過疎債)	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	その他特定財源	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	一般財源	15,644千円	21,687千円	16,600千円	24,893千円	32,886千円	29,520千円
従事者数	正職員	2千円	2.00人/年	2.10人/年	2.10人/年	1.60人/年	1.60人/年
	臨時職員	千円	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年
人件費	正職員	14,140千円	13,639千円	14,257千円	14,257千円	10,863千円	10,863千円
	臨時職員	千円	千円	千円	千円	千円	千円
退職給与引当金		1,821千円	1,871千円	1,909千円	1,909千円	1,455千円	1,455千円
トータルコスト		56,888千円	57,356千円	56,169千円	80,759千円	69,754千円	54,418千円

4. 施策の評価

有効性の評価	施策成果の達成度	c	a達成度は非常に高い b達成度はやや高い c達成度はやや低い d達成度は低い
	[説明]	・民有林施業計画面積はここ数年横ばい状態であり成果はやや低い。	
	施策成果向上の可能性	c	a可能性は十分ある bある程度可能である c可能性はあまりない d可能性はない
	[説明]	・継続して施業を行うことにより優良材をより多く生産し、あわせて木材生産の方策の再検討や流通形態の見直し等により、木材価格の安定が図られれば確実な成果が期待できるものと思われる。	
	貢献度	b	a貢献度は非常に高い b貢献度はやや高い c貢献度はやや低い d貢献度は低い
[説明]	・林業の振興を図るという目的を果たし、健全な森林整備を行い優良材の生産に寄与するなど、貢献度はやや高いと評価する。		

5. 施策の課題

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・木材価格低迷からの脱却 ・森林を総合活用するには、森林の保全と適正な管理が必要不可欠だが、林業の低迷により枝打ち・間伐等の保育に資金をまわせないため、森林の保全と適正な管理を行うことが困難になってきている。 ・国産材価格の低迷のため林業経営が厳しい状況にあり、後継者の確保も難しく林業全体の衰退が懸念されている。 ・林道・作業道ともに、効率的な林業生産体制に不可欠なものであるため、これらの整備が必要である。 ・財政状況の変化により、今後どれだけ資金提供していけるのか不透明である。 ・森林整備やその支援に関するニーズの把握を的確に捉えられていない。
----	---

6. 施策の方向性

総合評価	この施策の事業費を「維持」して取り組んでいく	次年度以降方針	<ul style="list-style-type: none"> ・この施策を継続することで、優良材をより多く生産し、それを公共施設の建設などに積極的に利用しPRすることで新たな需要を呼び起こしたい。 ・森林整備施策の重要性の位置づけを、資産や財産面さらには環境面から検証を行う。また、今後の資金計画等をシミュレートし、可能な限りこの施策を継続していく。 ・施策に対してどのようなニーズがあるのか把握するため、プロジェクト等を組むなどして定期的な情報収集を行い、的確なニーズを把握しながら取り組んでいくこととする。
------	------------------------	---------	--

【総合評価】 拡大、維持、縮小

なお、「総合評価」については、H26の事業費とH27の事業費を比較したのみの評価となりますので、「次年度以降方針」の内容とは異なる場合があります。
必ずしもこの事業費の比較の評価が事業内容に繋がるとは限りません。